

試合番号 : 381		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 340	
開始時間 : 15:30		終了時間 : 17:25		試合時間 : 01:55		主審 : 吉岡 奈々	
副審 : 本間 明		岡山シーガルズ		通算		11勝 7敗 ポイント : 31	
監督コメント	昨日の反省が生かされた第1・2セットはフォワードとバックの連携が上手くいきシーガルズが本来目指すバレーに近いセットであったが、魔の第3セットにかみが個々のプレーを鈍らせ、セットを失ってしまった。第4セットは全員バレーでよくしのぎ勝利できた。この勝利をレギュラウンド残り3戦に生かしていきたい。コロナ禍の厳しい状況の中、会場に足を運んで下さった皆様、心より感謝します。応援して下さい。2日間ありがとうございました。	3	25 第1セット 16		1	日立リヴァーレ	
			25 第2セット 22			通算	
			18 第3セット 25			5勝 12敗 ポイント : 13	
			25 第4セット 21			監督コメント	
			第5セット			2日間、沢山のご声援、ありがとうございます。今日の岡山戦は昨日の反省を生かして勝負に挑み、岡山の粘り強い守備に負けじと多彩な攻撃で仕掛けましたが力及ばずでした。ラリーの中で好プレーも見られましたがいつも同じ場面でも1点を取り切れないところが悔しいです。リーグ終盤となりますが来週はホームゲームなので2連勝を飾れるよう頑張ります。来週もご声援、宜しくお願い致します。	
要約レポート	今シーズン2度目となる岡山シーガルズと日立リヴァーレの一戦。第1セット、岡山は吉岡のスパイクを攻撃の要として、渡邊のサービスエースで流れを掴む。日立も上坂・野中・長内のスパイクで応戦したが、ブロード攻撃でブロックに的を絞らなかつた岡山がセットを取った。第2セット、日立は長内・雑賀、岡山は及川・渡邊・居村の攻撃で終盤までもつれたが、中本・古川の強烈なスパイクで粘り、セットを連取した。第3セット、岡山はリベロ丸山・船田のレシーブから攻撃するも日立はトップのブロックポイントやセッター雑賀が長内・芳賀の攻撃を引き出し、終始リードを守り、セットを奪い返した。第4セット、岡山は古川の攻守の活躍、川島の攻撃、日立は野中のサービスエース、芳賀のブロックポイントで一進一退の攻防となったが、岡山は金田・渡邊の巧みな攻撃で逆転を許さず熱戦を制した。						
試合番号 : 409		試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)				観客数 : 358	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:51		試合時間 : 01:51		主審 : 城 智人	
副審 : 中西 幸治		JTマーヴェラス		通算		13勝 3敗 ポイント : 39	
監督コメント	今日は私たちのホームゲームでした。応援を力に変え、前日の試合が延期となったので、モチベーションと集中力を高くキープし、スタートしたいと思っていました。相手を崩した場面では、自分達のブロックとディフェンスの精度が悪く、流れを作ることができませんでした。自分達のサイドアウトを取ることで、勝利はしましたが、まだまだ私達はチャレンジし、ハードワークをしなければなりません。応援して下さい。笑顔と感動をお届けいたします。今日はありがとうございました。	3	22 第1セット 25		1	KUROBEアクアフェアリーズ	
			25 第2セット 18			通算	
			25 第3セット 17			4勝 14敗 ポイント : 11	
			25 第4セット 21			監督コメント	
			第5セット			連敗脱出を目指して臨んだゲームでした。1セット目は相手のサーブミスなどにも助けられ、先取したものの、2セット目以降はJTの粘り強いディフェンスからのスピードあるオフェンスにブロックが分断され、思うようなリズムがつくれませんでした。本日のゲームの修正を次戦の準備をしたいと思っております。今後ともご声援よろしくお願い致します。	
要約レポート	現在3位のJTマーヴェラスが10位のKUROBEアクアフェアリーズを大阪に迎えた一戦。第1セット、19-19まで一進一退の攻防が続いたが、KUROBEは途中交代した浮島のアタックポイントをきっかけにリードを広げ、このセットを先取した。第2セット、中盤でJTはタッタオ、ドルズのブロックで3点差をつけると、その後も靱井のサービスエース、林のアタックが決まり、このセットを奪った。第3セットもJTの勢いは変わらずにこのセットも勝利し、第4セット、後のないKUROBEは、道下や梅津がアタックを決め、徐々に流れを引き戻し同点まで追いついたが、最後はJTがホームの意地を見せてセットカウント3-1で勝利した。						
試合番号 : 410		試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)				観客数 : 0	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:25		試合時間 : 01:25		主審 : 澤 達大	
副審 : 津嶋 由香		デンソーエアリービーズ		通算		10勝 5敗 ポイント : 31	
監督コメント	今日は連勝する為に、準備をして臨みました。しかし、相手のサーブに押され、中々リズムを作ることができませんでした。今日のような苦しい状況に対応できる力を付けてファイナルで勝てるチームになります。V・レギュラウンド残り4試合をまずは全力で勝ちにいきます。応援ありがとうございます。	0	22 第1セット 25		3	PFUブルーキャッツ	
			23 第2セット 25			通算	
			17 第3セット 25			3勝 13敗 ポイント : 9	
			第4セット			監督コメント	
			第5セット			前回の敗戦の反省からチーム一丸となって練習した成果が表れた試合だったと思う。非常に丁寧で組織的なバレーボールを展開することが出来たと思う。終始こちらから攻撃を仕掛け、集中力を切らさずに戦えたことが勝因だった。この2週間の選手たちの頑張りに敬意を表したいと思います。リモートマッチとなりましたが、画面越しに応援して下さい。皆様、ありがとうございます。	
要約レポート	第1セット、序盤からお互いに一進一退の攻防のままゲームが進み、緊迫したゲームが展開される。最後はこのセット好調であったPFUブルーキャッツ・アコスタがアタックを決め、セットを先取した。第2セットも序盤から一進一退の攻防が続きテクニカルタイムアウトを迎える。その後も緊迫した試合展開のまま、PFUが2点のリードを保ち終盤を迎える。最後は津賀のブロックとアコスタのアタックでPFUがセットを連取した。第3セット、PFUはゲーム開始から粘りあるレシーブでリズムをつかみ、攻撃陣が着実に得点を重ねていき11-5とリードを広げる。対するデンソーエアリービーズは選手交代で流れを変え、3点差まで追いつめるも、PFUの堅守からの攻撃が冴えわたり、勢いそのままにPFUがストレートで勝利した。						
試合番号 : 411		試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)				観客数 : 0	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:30		試合時間 : 01:30		主審 : 増岡 三佳子	
副審 : 浜野 陽一		東レアローズ		通算		18勝 0敗 ポイント : 51	
監督コメント	今日の試合は相手のサーブに崩され、逆に自分たちのサーブはミスが多く非常に苦しい展開となりました。次週に向けてしっかりと修正し準備していきたいと思っております。2日間のホームゲームでリモートマッチではありましたが、たくさんの方々に協力いただき試合をすることができました。本当にありがとうございます。	3	25 第1セット 20		0	ヴィクトリーナ姫路	
			25 第2セット 23			通算	
			26 第3セット 24			3勝 16敗 ポイント : 10	
			第4セット			監督コメント	
			第5セット			リーグ戦全勝で、1レグの対戦では手も足も出ない負け方をした東レ相手にある程度リスクを背負ってでも大胆に仕掛けようと、皆でぞんた1戦でした。サーブで主導権を握ることやブロックで的を絞っていくことなど、ある程度プラン通りのゲーム展開ができましたが、こー一本というところでのクオリティーの差が勝敗を分けたと思います。なかなか勝ち星にたどり着かず、苦しい状況ですが皆でめがきながら成長しつつ、勝ち星に結び付けたいと思います。来週は今シーズン最後のホームゲームとなりますが、応援よろしくお願い致します。	
要約レポート	第1セット、序盤はヴィクトリーナ姫路のサーブが効果的に決まり、10-6とリードしたところで東レアローズがタイムアウトを取る。そこから東レは好レシーブから効果的に攻撃を繰り出し16-15と逆転する。その後も東レはリブサーブで交代した白井の好サーブやクランのアタックでリードを守り、東レが25-20で第1セットを先取した。第2セット、ゲーム序盤から一進一退の攻防が続くが、中盤に東レは粘り強くラリーを制して加点した。姫路はセッターを堀込に代えて攻撃のテンポアップを図り、最大4点差を1点差の23-22まで追いつけたが、最後は東レの攻撃を防げず25-22で東レが第2セットも連取した。第3セット、開始直後から東レが波に乗り、10-3と得点を重ねていく。粘る姫路は田中のサーブポイントなどで12-12の同点に追いつき、23-23の同点のままセット終盤を迎える。東レ・石川と姫路・貞包の打ち合いとなったが、最後は東レが競り勝ち26-24で東レが第3セットも取り、このゲームに勝利し18連勝とした。						

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 412		試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)				観客数 : 450					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:21		試合時間 : 01:21		主審 : 千代延 靖夫					
副審 : 岡田 崇		久光スプリングス		トヨタ車体クインシーズ		通算 6勝 12敗					
通算 9勝 10敗		ポイント : 30		25 第1セット 22		ポイント : 19					
監督コメント	まず、今季ホームゲーム最終戦を開催するにあたり、ご尽力いただきました皆様方にご場をお借りし、感謝申し上げます。誠にありがとうございました。			3	25 第2セット 22		0	監督コメント	久光はシンプルかつスキルフルな事をやり続けてきた。我々クインシーズも情熱と戦術、高さとパワーを持って戦っていかねばならない。For the Teamで一丸となって前に進み、来週の試合で成長した姿をお見せできるよう、精進してまいります。		
	本日の試合は、サーブとブロックが機能し相手の攻撃を抑えたことが勝因となった。また、苦しい場面もあったが、サイドアウトから集中して得点できたことも良かった。				25 第3セット 11				厳しい情勢の中、皆様のおかげでゲームができ、喜びを感じました。ありがとうございました。残り試合もよろしくお願致します。		
	今週のようにチーム一丸となり、来週の試合に向け準備をしっかりと行っていききたい。				第4セット						
	今大会も皆様の応援が後押しとなりました。引き続きご声援宜しくお願いいたします。				第5セット						
要約レポート											
ホームで連勝を飾りたい久光スプリングスとトヨタ車体クインシーズの一戦。第1セット、久光は井上(美)のサービスエース、井上(愛)のスパイクで流れを引き寄せた。トヨタ車体はソロカイト、荒木のスパイク、鶴原のサービスエースで応戦するが、久光が先取した。第2セット、両チームともに一歩も譲らない中、久光のアキラデウオ、野本のブロックで突き放す。トヨタ車体は渡邊のスパイクでじりじり追いつけるが、久光は粘るトヨタ車体を振り切り連取した。第3セット、久光は序盤から前のセットの勢いのまま、アキラデウオ、井上(愛)の連続ブロックで流れを掴みトヨタ車体を引き離れた。後がなくなったトヨタ車体はセッター山形の懸命なトス、安井の好レシーブで流れを引き戻そうとするが、勢いは止まらず久光が勝利した。											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算 -勝 -敗		第1セット		通算 -勝 -敗		
ポイント :		-		第2セット		ポイント :		
監督コメント				第3セット				
				第4セット				
				第5セット				
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算 -勝 -敗		第1セット		通算 -勝 -敗		
ポイント :		-		第2セット		ポイント :		
監督コメント				第3セット				
				第4セット				
				第5セット				
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
副審 :		通算 -勝 -敗		第1セット		通算 -勝 -敗		
ポイント :		-		第2セット		ポイント :		
監督コメント				第3セット				
				第4セット				
				第5セット				
要約レポート								